

町民生活を応援 1人につき商品券2万円分と温泉優待券5枚を配布



温泉優待券



もせうし生活応援商品券

妹背牛町は6月、物価高騰による家計負担の軽減と地域経済の活性化を目的に、「もせうし生活応援商品券」と妹背牛温泉ペルの優待券を配布します。対象は令和8年5月1日現在で妹背牛町住民基本台帳に登録されている全町民です。商品券と優待券は1日から順次、各家庭へ郵送し、配布完了までには10日程度かかる見込みです。

商品券は、1人につき2万円分（1,000円券20枚）を配布。町内の商工会加盟店での買い物や飲食のほか、ガソリンスタンドなどで利用できます。なお、お釣りは出ません。

温泉優待券は、1人につき5枚つづり1セットを配布し、妹背牛温泉ペルの入浴に利用できます。町民の健康増進や温泉施設の利用促進を図るとともに、地域のにぎわい創出につなげます。

商品券の使用期限は令和8年12月31日まで、温泉優待券の有効期限は令和9年1月31日までとなっています。

春の火災予防運動 消防団員らが防火パレードと火防査察で注意喚起



防火パレード



火防査察

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節を迎え、「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」を統一標語とする春の火災予防運動が4月20日～30日の日程で、全道一斉に行われました。

期間中、町内では、深川消防署妹背牛支署や妹背牛消防団による防火パレード、火防査察、車両パトロールなどが実施され、地域住民に火災予防を呼びかけました。

21日に行われた防火パレードでは、消防車両が町内を巡回しながら火災予防をPRしました。

住宅を対象とした火防査察には火防委員も加わり、各家庭に火気の取り扱いや住宅用火災警報器の設置状況などを確認するチラシを配布。

ストーブ周辺に燃えやすい物を置かないことや、コンロ使用時は火のそばを離れないことなどを周知し、防火意識の向上を呼びかけました。

小学1、2年生が農作業を体験



トウモロコシの種を植える児童

妹背牛小学校の1、2年生が5月12日、町内のふれあい農園を訪れ、ジャガイモとトウモロコシを植える農作業を体験しました。

農業技術指導員の佐藤悟さんから植え方や種のまき方について説明を受けた後、子どもたちは、切ったジャガイモの断面を下に向けて土の中へ。

晴天の下、子どもたちは「大きくな〜れ」と声をかけながら、優しく土をかぶせ、農作業を楽しんでいました。

新鮮な農産物、地元特産品を販売



オープン初日から買い物客でにぎわう農産物直売所

妹背牛町農産物直売所「SUN工房あぜみち」が5月15日、今季の営業を始め、初日から新鮮な野菜を買い求める人たちでにぎわいました。

直売所では、地場産の野菜をはじめ、色鮮やかな花の苗、町民手作りの小町みそや浅漬けの素、福神漬けなどを販売。この日は野菜や花の苗が人気を集めたほか、10月末まで旬の農産物を売り出します。

営業時間は午前10時〜午後5時まで。定休は月曜日。

「歌う看護師」入山さんが慰問



デイサービスセンターで温かみのある歌声を披露する入山さん

「歌う看護師」として知られる入山アキ子さんが4月、妹背牛町内の福祉施設などを慰問し、伸びやかな歌声で利用者らを楽しませました。

町内で音楽活動を行った経験を持つ入山さんは、デイサービスセンターとグループホームべにばら妹背牛、わかち愛もせうしひろばの3カ所を訪問。

会場では代表曲や懐かしの歌謡曲を披露したほか、音楽に合わせた簡単な体操も行い、和やかな雰囲気になりました。

妹背牛商工会総会 新年度事業を承認



「商工会活動の積極的なご参加を」とあいさつする木山会長

妹背牛商工会は5月15日、妹背牛商工会館で令和8年度通常総会を開き、新年度事業計画案など9議案を承認しました。

総会には、会員ら約40人が出席。木山卓己会長が「地域経済のさらなる発展に向けて一緒に力を合わせましょう」と、商工会活動の積極的な参加を呼びかけました。

議事では、経営改善普及事業の推進などを重点とする新年度事業計画を採択しました。